



06年8月6日(日) すみだ生涯学習センターで、向島学会の平成18年度の総会が開催されました。今回の総会は、任意団体としての向島学会からNPO法人向島学会への移行という、今後の活動に大きな影響と可能性を与える転換点にあたります。そのため、任意団体としての最終閉鎖総会と、NPO法人としての設立総会が、さまざまな資産(人的、実績など)を引き継ぎ、あるいは移転する手続きとともに開催されました。

総会にはどちらも成立しました。出席者+委任状数などの正式な成立条件と、NPO法人化に伴う定款、事業計画などについては、別途、学会理事会(事務局)から報告が出ます。NPO法人化が承認され、今後は正式に、特定非営利活動法人(NPO法人)向島学会として動き出します。

平成18年度総会が開かれました



2006年 8月6日号 ニュース レター

<http://www.mukojima.org/>



Association of Mukojima Studies

発行 向島学会
代表 高木新太郎

131-0032

東京都墨田区東向島三丁目4番2号
03-3610-1378 (TEL・FAX)

仲間になりませんか!

向島学会では、会の目的に賛同し、活動に主体的に参加するとともに、活動の成果を会に提供する個人を対象に会員を募っています。

NPO設立総会を以って、区内区外問わず、どなたでも会員になることができるようになりました。

交流サロンなどに参加していただき、その後、会員に申し込まれることをお勧めします。

詳しくはホームページ

<http://www.mukojima.org/> まで。



向島学会 平成18年度総会

日時:平成18年8月6日 午後2時~
会場:すみだ生涯学習センター 和室

1. 総会(午後2時~3時半) 進行:高木
議事録署名人:嘉藤、渡辺(慎)
議事録作成:友野

(任意団体の総会)

- 1) 会長あいさつと経過説明(高木)
- 2) 議長の選出(議長予定者 阿部)
- 3) 平成17年度活動報告(高木)
資料準備 真野
- 4) 平成17年度決算報告(高原、真野)
資料準備 高原、真野
- 5) 平成17年度監査報告(白鳥)
資料準備 高原、真野
- 6) 解散/財産移行の決議(議長)

(NPO法人の総会)

- 1) 設立趣旨とこれまでの経緯の説明(高木)
- 2) 議長の選出(議長予定者 佐原)と定足数の確認
- 3) 定款の説明(会員資格や議決なども)(山本)
- 4) 理事・監事の紹介(高木)
- 5) 平成18年度事業計画案、予算案(真野)

向島学会 会員の皆様

向島学会
会長 高木 新太郎
事務局 真野 洋介

向島学会の特定非営利活動(NPO)法人への移行のご報告と平成18年度総会のご案内

拝啓

盛夏の候、皆様におかれましては、日々ますますご清祥のこと心からお喜び申し上げます。私たち向島学会は、2002年春の設立から丸4年を迎え、様々な活動を続けてまいりましたが、これらの活動展開を更にすすめるため、先月12日に、東京都より特定非営利活動(NPO)法人の認証を受けました。

今後はこれまで継続して行ってまいりました、様々な地域の活動やプロジェクトの実践・支援、様々な地域との交流に加え、更に多彩な事業展開を行っていく所存です。皆様には、今後一層のご支援賜りたくお願い申し上げます。

この度、任意団体から特定非営利活動法人に移行するにあたり、詳しい経緯のご説明と任意団体の解散、会員の移行手続き、新年度の予算や事業計画などを話し合う、平成18年度の総会を開催することになりました。

今後の活動を一層充実させる上でも、ぜひ会員の皆様に総会にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

平成18年度 第1回 交流のサロン

総会に続いて、今年度第1回目の交流のサロンが開催されました。NPO化に伴い、会としての独自事業、助成事業などが活動として位置づけられます。すでに、以前からの活動の継続、発展を想定して、いくつかの企画が出ています。今回はそのいくつかの企画提案が発表されました。

想定される平成18年度からのNPO法人向島学会の事業内容

地域内の資源や資料などの情報をデータベース化し、地図やホームページ等で公開。

【Project】

- ・向島マッピングプロジェクト
- ・京島マップ

地域の活性化を支えるための多様な活動を人材や技術の面で支援する。

【Project】

- ・鳩の街ジャズフェスティバル実行委員会の支援
- 地域で安全な住まい・まちづくりのための調査研究を行う。

【Project】

- ・東向島空き家利用コンサルティング
- ・住宅密集地に関する住宅提案

地域の文化とまちづくりについて学ぶ、連続講座とイベントを開催する。

【Project】

- ・向島アート・まち大学
- ・AAFとの連携
- ・AAFすみだ川アーツのれん会との連携
- ・地元アーティストとの連携

墨田区内外の様々な団体との交流会を開催する。

【Project】

～区内～

- ・向島地区交流サロン
- ・地元市民団体との連携
- ・商店街との連携
- ・すみだNPOオフィス関連

～区外～

- ・尾道・向島との交流
- ・沖縄との連携
- ・ドイツオッテンゼンとの交流
- ・大学との連携

2 第1回交流のサロン(午後3時半～5時)

- 1) 向島空き家再生プロジェクトの企画提案 (大崎)
- 2) マッピング向島プロジェクトの企画提案 (古橋)
- 3) 鳩の街ジャズフェスタの報告 (若林、遠藤)
- 4) 向島のはじまり「森の記憶 町の記憶」報告会の提案 (トリのマーク)

3 懇親会(午後5時半～)

向島の空き家再生に向けた専門家支援プロジェクト(案1)

向島学会「住まい・まちづくりに関する調査研究事業」平成18～19年度事業計画書(抄)

趣旨説明

向島地区には老朽化した空き家が数多く存在し、その数は年々増加する傾向にある。こうした空き家は、防災上、治安上、衛生上の問題が大きくなり、その対応は急務の課題である。一般的に、空き家が放置されたまま存続する要因として以下のケースが考えられる。

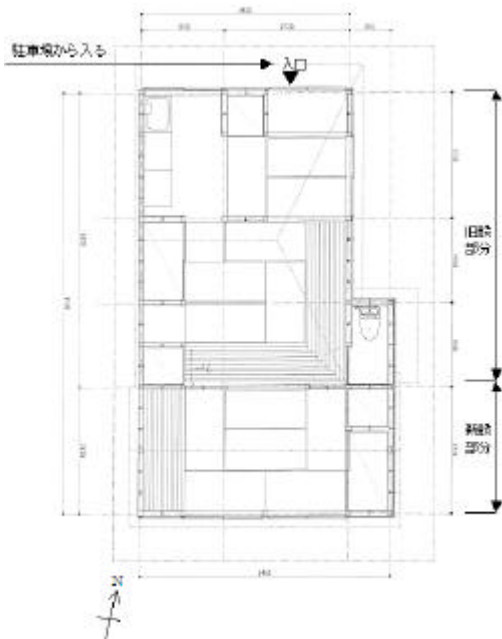
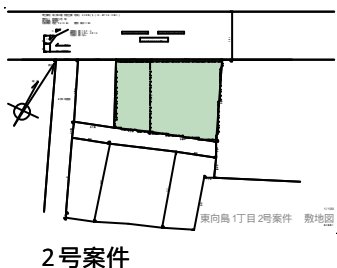
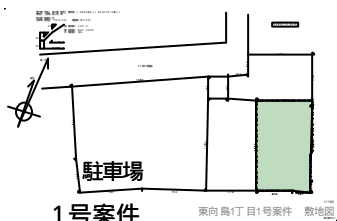
- 建物所有者が、費用を負担してまでも建物の除却を行う必要性を感じていない場合
- 老朽化が著しく、建物の改修をしても、安全性、快適性などの最低限の居住水準を確保する改修を、適正な費用で行うことが困難である場合
- 建替えをしたくても、資金面、権利関係面、敷地条件面などの理由から建替えが困難である場合

こうした空き家をそのまま放置しておくのではなく、建物所有者はもとより、建物周辺の環境、まち全体の環境にとつてもメリットがあるような再生案を積極的に提案し、それを実現可能なものとして具体化していくことが、今求められている。

事業概要

本事業の目的は、向島地区の具体的な案件をモデルとして、空き家の再生方法を、技術面や資金計画面などもふまえて多面的に検討し、それを企画書にまとめ、建物所有者やその他関係者に提案すると同時に、実現に向けた各種のコーディネートを行うことである。

さらに、こうした実践例をふまえて、空き家再生の課題とその対応方法を地区内外に広くアピールし、地区全体の空き家再生の動きを触発していくことを狙いとしている。具体的な案件(通称：1号案件)があり、平成17年度から手がけている案件(通称：1号案件)があり、平成18年度前半は、まず1号案件の再生計画の提案とその実現に向けたコーディネートを実施する予定である。



1号案件
既存建物
調査結果

1号案件は、無接道敷地のため建替えができず、また、老朽化が著しく通常の改修では利用が困難な事例である。1号案件の再生方法として、現在、大きく以下の3つの方向性から検討している。

- a 建物全体を除却して、除却後の空地を積極的に利用する(空地活用案)
- b 建物の老朽化の著しい部分のみを除却して、残りの部分を改修して利用する案(改修活用案：構造フレーム挿入案、減築案)
- c 将来的に(1号案または2号案の実現を前提としたうえで)1号案件の周辺敷地・建物と一体となった共同、協同建替えへ移行するシナリオ案(将来の更新シナリオ案)

平成18年度後半～平成19年度も、1号案件での試行錯誤の経験をふまえ、順次、他の案件を手がけていく予定である。

空き家再生支援プロジェクトは実施段階に入ると企業活動の側面が強まるため、学会事業としては、向島・空き家再生支援プロジェクト各案件の初期期活動である。企画提案書の作成は、まずと、それ以降のプロジェクトに対しては、独立した事業主体としてLLP(有限責任事業組合)を設立し、遂行することも想定している。

事業全体の活動に要する経費のうち、その他の経費(企画提案書作成に関わる経費以外の経費)については、財団等の各種助成団体からの助成金(参加メンバーのボランティア)によって補う予定である。特に、財団等からの助成金は、図面作成や関係者コーディネートなど、専門性と時間コストが高い事業経費の一部に充当する予定である。

「マッピング向島」プロジェクト

向島学会「アーカイブ事業」事業計画書(抄)

経緯：2004年に開催された「向島Year2004」の準備のために始まった、旧寺島町エリアを中心とするエリアに開く人達によるマッピングは、向島YEAR開幕後も継続し月に一回程のペースで回を重ね、名称を「寺島の集い」と変え、もうじき3年目を迎えようとしている。

これまでに鳩の街商店街の活性化を軸に置き、様々な企画を検討してきたが、様々な制約により実現が難しくなることが多々あった。そこで困難な要因の多い商店街での事業よりも先に、「協力をしていただける人」といっしょに、改めて様々な視点で、まずこのエリア(旧寺島町)を取り上げていくところから始めなくては。というコンセプトを得た。そのためのツールとして、他の様々なまちづくりにおいても実績のある「マッピング(地図作り)」からとりかかろうと決めた。

趣旨：言うまでもなく、墨田区の旧寺島地域は歴史の豊かな土地である。とりわけ江戸時代以降から戦後しばらくはまさに「川向」の別天地として、観光客も多く訪れる栄えたエリアであった。「向島百花園」を筆頭に、「白鷺神社」や「秋葉神社」などの有名な神社仏閣、文化人ゆかりの地、昔ながらの風情をたたえる商店街、細い路地の入り組んだ独特な景観や文化、現代においては取られていくが、かつては確かに日本独自の文化であった遊里跡など。しかし、これらの背景にある歴史は明治以降、とりわけ戦後の西洋型近代化の流れの中で地元の人々の記憶から見え失われかけているように見える。このことは、同時に地元の人々が自らの住む街への自信を失っていることとも意味している。地域活性化のためにはまずよく地域を知り、そこに誇りと愛着をもつことが必要であり、全てはそこから始まらないと考える。

ここで言う「マッピング」とは、平面的地図をつくるという意味はもちろんであるが、地域の生い立ちや様々な歴史、現在の姿を再確認し、それらの関連性を知り、整理する行為でもある。そうすることによって多くの人が忘れてしまったり、知られていない地域の姿を浮かび上がらせ、制作に関わった人やそれを見た人が、地域への愛着や誇りを取り戻せるようになる、或いは今以上に地域を知ってもらうことが目的である。

「マッピング」のスタートは向島の歴史を地図上にプロットして資料とリンクすることから始めたいと考えている。まずは、かつての寺島町のことについて詳しくお話を伺うことから始め、年度内には地図のプロト版を作成して、今後の展開のために活動の発表を兼ねたイベントを実施する。

実施概要

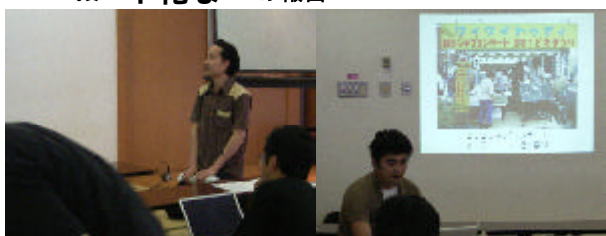
- ・一月・二月に一度程度のペースで、歴史に詳しい方のお話を記録する。
- ・地図上にそれらの話の中に出てきた箇所をプロットする。
- ・記録した話 関連する資料をペースに要約テキスト作成

- ・年度内にA2程度のプロト版のMAPを編集・作成
- ・年度末にイベントで活動報告と、協力者の募集など
- ・「寺島の集い」レギュラーミーティングは継続し、そこで地図作りやイベントの詳細を決めていく。



マッピング向島 活動計画の提案

「鳩の街ジャズフェスティバル」の報告



鳩の街商店街空店舗の新たな活用による地域交流の活性化支援プロジェクト

向島学会「地域活性化活動の支援事業」事業計画書(抄)

これまでの経過
空き店舗や、空家ではないまでもシャッターの閉まった店舗の多くなった鳩の街の商店街に、ここ数年、他地域から若い店主が入居し、地域とのコミュニケーションを大切にしながら、個性的な店舗を展開しようとする動きが見られるようになった。

鳩の街通り商店街は旧来の商店街に見られた売り手と買い手の間に日常会話のある商店街であり、向かい合う店舗の距離も程良く、近年の大型店舗にない良さを残す希少な商店街である。以前よりこれらの魅力に惹かれこの地を訪れる人はあつたが、その溜り場となれる場所がなかった。しかし、新たな店舗は、従来の地域住民と新たな地域住民、さらには他地域から向島を見学に来る人達にとって格好の情報交換の場となつており、ここで生まれた新しい交流のよつて、地域にさらにおたかな人が呼び込まれ、地域の活性化につながる様々な動きが見え始めている。このような状況の中で、これらの地域交流を継続させ、さらに発展させるの試みに対して、支援が必要と思われる。

鳩の街で現在企画されている地域交流

新たな店舗では訪れる人との活発な交流が生まれ、小規模なイベントが企画実施され、地域交流の活性化に貢献し始めている。また、中には継続発展する可能性を持った企画も含まれている。現在進行している企画について支援が必要と思われるものを以下にあげる。

1. 第1回 鳩の街ジャズフェスティバル
- * 日時：2006年7/22(土)、鳩の街わいわいトウデ

イ 内 日 4:00 ~ 日 7:00

- * 場所：はとほつと(鳩の街商店街内広場)
- * 内容：複数バンドによるジャズの演奏

2. 「鳩の街の風」展
- * 日時：2006年7/17(月) ~ 7/22(土)

- * 場所：A2einer 交差点
- * 内容：鳩の街のスケッチを主体とした小品展(ジャズフェスティバルに屏風を展示予定)

3. 鳩の街シネマフェスティバル シネマカフェ企画
- * 日時：2006年7/22(土) 鳩の街わいわいトウデ

イ 内 日 4:30 ~ 日 6:45

- * 場所：カフェ・グラウル(仮)
- 1は一周年を迎えた週末bar 帝都ロケット商会を開催する若林氏が、地域への感謝祭も兼ねて発表したジャズフェスティバルである。Skeeno gallery Aelter rakkyoと協力し、ジャズの演奏による従来の地域住民との音楽とアートという時間と空間の共有を通じた、更なる地域交流の活性化を目指す試みである。またAelter rakkyoではジャズフェスティバルに作品を提供しながら、同時期に2を企画している。3もまた同時期の開催を目指している。2006年6月に「スポーツ映像観戦@カフェ・グラウル」という企画が行われており、これを発展させた、映画上映による店舗活用、地域交流の企画である。

これらの企画は実際に鳩の街の新たな店舗活用を行っている芸術家達が起点となり企画運営するイベントとして、街の内外を結ぶ接点ともなる。また、向島の他の箇所でも同時期に様々な企画が進行しており、他の企画との自然な連係へと繋がるものと思われる。より多くの交流が生まれ、本企画が成功することで、今後、更なる地域交流となり、継続発展するとともに考えられる。

- * 定期的なジャズフェスティバル・映画会の開催
- * 空き店舗を複数用いたフェスティバルへの拡大
- * 他のアートとイベントとの融合による更なる地域交流の活性化
- へ向けた発展が見込まれる。

必要とする支援

の企画はジャズフェスティバルを基軸として、様々な方向に拡大を見せながら、現在実現に向けて活動中である。鳩の街通り商店街内の企画であるものの、個々の企画の寄り集まりである為、商店街が補助しきれないわけではない。より商店街や従来の地域住民との交流を促進させ、空き店舗の活用を通して商店街の活性化に繋げる意味からも、商店街と協力連携し、商店街の補助が見込めない箇所を補填する支援を申請したい。

広告宣伝：企画がより活発な地域交流へと発展するよう、広告作成の補助、配付への協力をを行う。

企画への助言・補助：企画運営への助言・補助。演奏者の紹介、手配の補助。同時期のイベントとの交流の紹介。資料作成：今後の空き店舗の活用に関するよう、企画を記録、報告書を作成し、今後の空き店舗活用と地域交流に活用するための支援。



いつものように、各々の思いや意見、感想、紹介などをたくさんの方が話してくれました。会の後、夏祭りに行く人も。

向島のはじまり「森の記憶」町の記憶」報告
 トリのマーク(通称)AAF2006参加企画
 2006年7月22日
 おとなは「森の劇場」で記憶を読む
 ワークショップ参加のおとな1名は「森の劇場」担当。ここは、椅子に座って、森を見て、読み手の男性と一対一で森の記憶を味わっていただく、というポイント。時間的には短いものの、森と人向かい合って、密度の濃い時間を過ごしていただきたいなあと考えて、設定したポイントです。
 【トリのマーク(通称)HP公式記録より】



NPO法人化に伴って、会員の資格、入会手順、会費、支払い方法、さらに会費支払先口座が変わりましたので、以下に記しておきます。ホームページ上にも記載しております。

2006年8月のNPO設立総会を以って、会員募集の方式が変わり、区内、区外問わず、どなたでも、会員になることができるようになりました。

入会手順
 入会金の支払い方法(郵便振替、もしくは、現金手渡し)による手順が異なります。

<郵便振替を利用する場合>

下記の振込み先に会費を振り込む。
 口座番号 00180-1-390992
 口座名 「特定非営利活動法人 向島学会」
 通信欄に、以下を記入いただく。

- ・会員の種類
 - 正会員(新規、継続)
 - 賛助会員
 - 学生会員
- ・メールアドレス、郵便番号、住所、電話番号。
- ・学校名、もしくは会社、所属団体。

ホームページ上で申し込む。

<http://www.mukojima.org/>
 「問合せフォーム」にて、上記、情報を連絡いただく。
 メールが無い場合は、省略。

<交流会、総会等での現金支払い>

交流会、総会にて、現金にて、お支払いいただく。
 プロフィールカードにご記入いただく。

会費

- ・正会員(総会参加可、議決権あり)
 - 入会金 3,000円 年会費 6,000円
- ・賛助会員(総会参加可、議決権なし)
 - 個人 年会費 3,000円、団体 年会費一口10,000円
- ・学生会員(総会参加可、議決権なし)
 - 入会金 1,000円 年会費 1,200円

会員特典

- ・総会の参加。
- ・メーリングリストへの参加。
- ・イベントにおける割引。